

日常の ほっこりな ひと時



休日の朝。ほかほかでお天気も良く、それぞれが好きなことをしながらリビングで過ごす朝。なんでもない瞬間ですが、この“なんでもない”がとてもうれしい(涙)



今年の七五三は、3歳の女の子1名でした。にこ〜っとした嬉しそうな笑顔に、職員みんなキュンでした。



11月8日夜、皆既月食がありました。
みんなで夜空を眺める…。そんな時間、たまにはあっていい！って感じさせた、ブラッドムーンの不思議なパワー。まじ神秘。

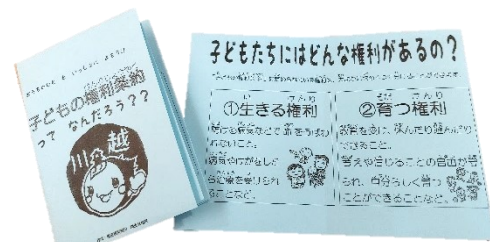
地元川越の 福祉の市に 参加しました



児童虐待防止&里親制度をPR!

“知る人ぞ知る”ような、「児童養護施設」「社会的養護」「子どもの権利」「里親制度」「オレンジリボン」をPRしました!

来場者の方とお話しをすると、『興味はあったけど…』『気にはなっていたけど…』という方も多く、『(児童養護施設が)川越にあったんだ〜』とビックリされる方もいました。110周年になります、地域の中ではまだまだ青いぞ、育児院!今後も地域とのさらなる関わりを築き、すべての子どもたちの幸せにつなげていかなければと実感しました。



子ども向けに配布した「子どもの権利」についてのミニ本

寄付者・ボランティア紹介

コロナ禍におきまして、感染防止の観点から、大変恐縮ながらご寄付・ボランティアを多数お断りさせていただきました。

令和4年9月~11月 順不同・敬称略

[寄付]クドウアツシ、埼玉育児院後援会、株式会社フォレスカイ、埼玉更生保護女性会連盟、小幡宏枝、第一生命労働組合川越支部、愛和病院、米山晶子、岡根たつ子、皆川武夫、猪飼仲和、増山高戸、増田紅歌、高星清、脇田素子、毎日新聞東京社会事業団、長谷川雄二、株式会社フレーバル館、西島正至、積和建設埼玉栃木(株)創心の会、まいまい、芦部裕子、埼玉県スポーツ用品小売商協同組合、河野、岡野一平、海保陽一、海老根綾子、石川弘子、匿名

[ひまわり学習ボランティア] 神山裕一、瓜谷玲子、小室敏夫、寺岡美雪、栗原麻衣子
[ダンスボランティア] Act The Family
[裁縫ボランティア] 秋田かおる
[スケート教室] 森田和治みなさま
[花植え・除草作業] 育児院サポートクラブ



育児院だより

2022年12月12日
第80号

発行：社会福祉法人 児童養護施設 埼玉育児院
〒350-1175 埼玉県川越市大字笠幡 4904-1

Tel 049-231-2107

発行責任者：藤井美憲 編集：児童養護施設埼玉育児院広報委員会 Fax 049-231-2111



施設の名称は『埼玉育児院』のままに

施設長 藤井美憲

今年もクリスマスを迎える時期となりました。時が経つのは、年々早くなったと感じるこの頃です。埼玉育児院は、今年度創立110周年を迎えました。去る10月30日に例年であれば「お楽しみ会」を開催していましたが、コロナの感染予防対策もあり、趣旨を変え「創立110周年を祝う会」とし、ささやかなお祝いの会を開催しました。お客さまも、法人の役員、後援会の役員の方と卒院生、旧職員に限定しました。

当日は、110周年記念誌の発行日となり、完成した記念誌を皆さんに配布しました。

セレモニーの中で記念誌作成の経過報告が行われ、前回の育児院だよりでお伝えした施設の名称変更についても結果が発表されました。

施設の名称変更については、理事会での検討の結果は、言うまでもなく、名称変更は行わず、「埼玉育児院」のままでいくことになりました。これまで慣れ親しんできた名称を変えたくないという意見が多数ありました。長い歴史と共に、この名称も大切にされてきたということを感じさせていただきました。施設名称の提案や投票にご協力くださった皆さんに報告するとともに、この場を借りて心よりの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

また、子どもたちが全員参加する行事を久しぶりに行えるということもあり、グラウンドを中心にパイオニア労働組合川越支部の方、川越ライオンズクラブの方にゲームのコーナーを出店していただきました。限られた時間での開催でしたが、子どもも卒院生も職員も旧職員とともに、にぎやかで楽しいひとときを過ごせました。

職員の皆さんには、記念に作成した手ぬぐいを配布しました。また、職員のユニフォームとなる法被も作成しました。110周年の節目となるこの時期に、良い思い出ができたことを喜ばしく感じています。

さて、12月というとクリスマスですね。クリスマスは、イエス・キリストのお生まれになった誕生日を祝う日です。子どもの楽しみは、サンタさんからのプレゼントです。今年のプレゼントは何にしようかなと職員と話し合って決めようとする子どもの姿も見られます。

コロナ禍ということ、ウクライナとロシアの戦争の最中にあり、全世界に暗い陰を落とすような状況もあります。しかし、それにもかかわらず、神様が私たちにくださったのは愛と平和の種となるイエス様だったことを覚えて過ごしたいと思います。



記念手ぬぐい
職員へ配布

おかげさまで 創立110周年を迎えました。



2022年10月30日 埼玉育児院 110周年を祝う会

ご覧の写真の他に、輪投げや的当て、工作などゲームなども行いました。



3年ぶりとなる全員参加行事。
久しぶりに集まりました。



くす玉にて新施設名を発表。
“しーん”となった直後にドッと笑い声。



110年前の育児院の成り立ちを
みんなで学びました。



創立110周年記念誌
「愛する心 とこしえに 2」



職員のイベントユニフォームを新調！
職員の投票でオレンジにしました。

記念品として、オリジナル表紙の自由帳
オリジナルパッケージの子ロルチョコ



30名の元児童がお祝いに駆けつけてくれました。なかには退所以来の来院や、職員の胸が熱くなる再会もありました(涙)。当日に来ることのできない元児童とも久しぶりの連絡を取る機会となり、いつでも帰れる場所でありたいと再確認しました。また10人の元職員さんも参加してくれました。

